



## 2024年度 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社ソラスト 上場取引所 東  
コード番号 6197 URL <https://www.solasto.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 野田 亨  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 広報・IR部長 (氏名) 海野 あかね TEL 03 (6890) 8904  
半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年11月25日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年度第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年度中間期	68,388	2.1	3,678	46.5	3,455	39.1	1,935	△50.2
2023年度中間期	66,983	2.8	2,510	△19.5	2,483	△24.0	3,890	110.1

(注) 包括利益 2024年度中間期 1,923百万円 (△50.4%) 2023年度中間期 3,880百万円 (103.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年度中間期	20.99	—
2023年度中間期	41.14	41.14

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年度中間期	70,496	21,529	30.5
2023年度	75,199	20,485	27.2

(参考) 自己資本 2024年度中間期 21,523百万円 2023年度 20,477百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年度	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年度	—	10.00	—	—	—
2024年度（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年度の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	2.9	6,200	12.4	6,050	8.7	2,500	10.7	26.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年度中間期	94,741,793株	2023年度	94,741,793株
2024年度中間期	2,474,233株	2023年度	2,531,133株
2024年度中間期	92,216,644株	2023年度中間期	94,576,555株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 決算補足説明資料及び2024年11月12日開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会(ライブ配信)における資料は、11月12日の説明会開催前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(当社ウェブサイトURL)

<https://www.solasto.co.jp/ir/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月～9月)における当社グループの業績は、売上高においては、医療事業、介護事業及びこども事業がいずれも堅調に推移し、前年同期比2.1%増の68,388百万円となりました。営業利益は、増収による増益のほか、特にスマートホスピタル事業の構造改革に伴う収益性の大幅改善、販売費及び一般管理費の削減等により、前年同期比46.5%増の3,678百万円となりました。経常利益は、前年同期比39.1%増の3,455百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は1,935百万円となりました。前年同期と比べ50.2%の減益となりましたが、これは前年同期において、2023年6月に株式会社ソラストケア(旧社名:三井住友海上ケアネット株式会社)及びソラストケアネットワーク株式会社(旧社名:総合ケアネットワーク株式会社)を子会社化したことに伴い負ののれん発生益2,828百万円を計上した影響によるものです。

当中間連結会計期間の業績結果は以下のとおりです。

(単位:百万円)

	2023年度 中間連結会計期間 (2023年4月～9月)	2024年度 中間連結会計期間 (2024年4月～9月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2023年4月 ～2024年3月)
売上高	66,983	68,388	+1,405	+2.1%	135,139
営業利益 (同率)	2,510 (3.7%)	3,678 (5.4%)	+1,167	+46.5%	5,517 (4.1%)
経常利益 (同率)	2,483 (3.7%)	3,455 (5.1%)	+971	+39.1%	5,564 (4.1%)
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (同率)	3,890 (5.8%)	1,935 (2.8%)	△1,955	△50.2%	2,257 (1.7%)

<事業セグメント別の状況>

当社は、組織変更を伴う構造改革を実施したのを機に、2024年4月1日より経営管理区分を変更したことに伴い、2024年度から「医療関連受託事業」の名称を「医療事業」に変更するとともに、従来「その他」の区分に含まれていた「教育事業」は報告セグメントの「医療事業」に含めています。また、併せて報告セグメントの業績管理の方法をより適切に表示すべく全社費用の配賦方法を見直しています。これに伴い2024年度より報告セグメントの売上高及び利益又は損失の測定方法を変更しています。

下表の事業セグメント別の売上高及び営業利益は、2023年度の実績に2024年度のセグメント変更を反映した参考値を用いて前年比較をしています。

[医療事業]

売上高は、コロナ関連業務の特需が終息したことによる約11.3億円の減収要因があったものの、前年度中に新規受注した請負業務の業績貢献と価格改定効果等により、前年同期比0.2%減の35,444百万円と、ほぼ前年同期並となりました。営業利益は、請負業務の増収による増益に加え、前年度に計上した想定以上の新規立ち上げ費用がなくなったこと、また、前年度に進めた次世代オペレーションへの移行で生産性が改善され販売費及び一般管理費が減少したこと等が、コロナ関連業務の減収による減益影響等を上回り、前年同期比12.3%増の2,373百万円となりました。

[介護事業]

売上高は、コロナ禍からの回復基調が続いていることに加え、前年度に子会社化したポシブル医科学株式会社、株式会社ソラストケア等の計4社及び新規開設事業所の業績貢献等により、前年同期比4.9%増の27,782百万円となりました。営業利益は、増収による増益に加え、介護事業所の統廃合をはじめとした効率化を進めたこと、また、前年度に減損損失を計上したことによる償却費負担の減少等により、前年同期比61.8%増の1,258百万円と大幅増益になりました。

[こども事業]

売上高は、園児数の増加による増収効果等で、前年同期比3.0%増の5,034百万円となりました。営業利益は、増収による増益や求人費用の減少等により、前年同期と比べて大幅増の78百万円となりました。

[その他]

スマートホスピタル事業においては、2024年度の重点取り組みとして着手している医療機関向け総合ソリューションのサービスメニューの一つとして営業活動を展開しました。順調に顧客数が増加したことにより、売上高は、前年同期比15.0%増となりました。損益面については、当中間連結会計期間は引き続き損失を計上したものの、2023年10月の事業構造改革以降は順調に収益性が改善し、9月には単月黒字化を達成するなど、過去最高水準まで改善しました。

以上の結果、その他の売上高は前年同期比13.9%増の126百万円、営業損失は32百万円となりました。

[売上高]

(単位：百万円)

	2023年度 中間連結会計期間 (2023年4月～9月)	2024年度 中間連結会計期間 (2024年4月～9月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2023年4月 ～2024年3月)
医療事業	35,503	35,444	△58	△0.2%	70,833
介護事業	26,480	27,782	+1,301	+4.9%	53,895
こども事業	4,887	5,034	+146	+3.0%	10,174
その他	111	126	+15	+13.9%	236
合計	66,983	68,388	+1,405	+2.1%	135,139

[営業利益]

(単位：百万円、( )内は営業利益率)

	2023年度 中間連結会計期間 (2023年4月～9月)	2024年度 中間連結会計期間 (2024年4月～9月)	増減	増減率	(参考) 前年度 (2023年4月 ～2024年3月)
医療事業	2,113 (6.0%)	2,373 (6.7%)	+260	+12.3%	4,301 (6.1%)
介護事業	777 (2.9%)	1,258 (4.5%)	+480	+61.8%	1,482 (2.8%)
こども事業	△46 (-)	78 (1.6%)	+124	—	307 (3.0%)
その他	△333 (-)	△32 (-)	+301	—	△575 (-)
合計	2,510 (3.7%)	3,678 (5.4%)	+1,167	+46.5%	5,517 (4.1%)

(注) 上記<事業セグメント別の状況>に記載している“売上高”は、P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」の“外部顧客への売上高”の数値を記載しています。

[介護事業所数及び保育施設数]

	2023年9月末	2024年3月末	2024年9月末
介護事業所数	728	724	715
保育施設数	68	68	67

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末は前連結会計年度末と比較し、“資産の部”においては、主に短期借入金及び長期借入金の返済により現金及び預金が減少したことや、有料老人ホーム等における入居一時金保全信託を解約し金融機関の保証に切り替えたことに伴い投資その他の資産が減少したこと等により、資産合計は4,703百万円減少しました。

“負債の部”においては、短期借入金及び長期借入金の減少に加え、前連結会計年度末が金融機関の休業日であったために支払いが2024年度に繰り越されていた社会保険料に係る未払金及び預り金の減少等により、負債合計は5,747百万円減少しました。

“純資産の部”においては、配当金の支払いが922百万円あったものの、親会社株主に帰属する中間純利益1,935百万円を計上したこと等により、純資産は1,044百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年度通期の業績予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,115	12,305
売掛金	15,017	15,240
貯蔵品	99	92
その他	2,264	2,539
貸倒引当金	△212	△27
流動資産合計	32,284	30,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,252	9,060
土地	5,685	5,685
その他(純額)	2,565	2,526
有形固定資産合計	17,503	17,273
無形固定資産		
のれん	15,377	14,553
その他	1,230	1,234
無形固定資産合計	16,608	15,788
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,824	7,305
貸倒引当金	△21	△20
投資その他の資産合計	8,803	7,285
固定資産合計	42,915	40,346
資産合計	75,199	70,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	4,782	4,782
未払金	10,859	9,360
未払法人税等	1,359	1,888
賞与引当金	2,219	2,517
役員賞与引当金	15	11
その他の引当金	22	29
その他	4,821	3,126
流動負債合計	24,582	21,717
固定負債		
長期借入金	19,942	17,551
損害賠償損失引当金	383	383
退職給付に係る負債	2,083	2,142
資産除去債務	1,467	1,480
その他	6,254	5,690
固定負債合計	30,132	27,249
負債合計	54,714	48,967
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	686	686
資本剰余金	5,586	5,575
利益剰余金	15,629	16,643
自己株式	△1,500	△1,444
株主資本合計	20,402	21,460
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	74	62
その他の包括利益累計額合計	74	62
新株予約権	8	6
純資産合計	20,485	21,529
負債純資産合計	75,199	70,496

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	66,983	68,388
売上原価	56,123	57,053
売上総利益	10,859	11,335
販売費及び一般管理費	8,348	7,656
営業利益	2,510	3,678
営業外収益		
補助金収入	101	43
受取補償金	57	—
その他	55	42
営業外収益合計	215	86
営業外費用		
支払利息	139	147
その他	103	161
営業外費用合計	242	309
経常利益	2,483	3,455
特別利益		
負ののれん発生益	2,828	—
特別利益合計	2,828	—
特別損失		
障害者雇用納付金	187	—
移転関連費用	161	—
特別損失合計	348	—
税金等調整前中間純利益	4,963	3,455
法人税等	1,072	1,519
中間純利益	3,890	1,935
親会社株主に帰属する中間純利益	3,890	1,935

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,890	1,935
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△10	△12
その他の包括利益合計	△10	△12
中間包括利益	3,880	1,923
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,880	1,923
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	4,963	3,455
減価償却費	737	711
のれん償却額	893	828
移転関連費用	161	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	103	297
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△4
損害賠償損失引当金の増減額	△121	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	117	58
支払利息	139	147
負ののれん発生益	△2,828	—
売上債権の増減額(△は増加)	△547	△222
棚卸資産の増減額(△は増加)	18	7
前払費用の増減額(△は増加)	△366	△454
未払金の増減額(△は減少)	1,195	△1,125
未払消費税等の増減額(△は減少)	245	△536
預り金の増減額(△は減少)	814	△878
その他	△172	△434
<b>小計</b>	<b>5,344</b>	<b>1,851</b>
利息の支払額	△141	△147
補助金の受取額	297	—
法人税等の支払額	△1,279	△1,003
障害者雇用納付金の支払額	—	△179
構造改革費用の支払額	—	△158
移転関連費用の支払額	△118	—
その他	20	20
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,123</b>	<b>381</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△803	△210
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△232	△263
金銭の信託の解約による収入	—	1,107
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△43
敷金及び保証金の回収による収入	20	171
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,659	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	384	—
その他	△77	△41
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,394</b>	<b>720</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,980	△500
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△2,031	△2,391
自己株式の取得による支出	△392	△0
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加)	△265	—
配当金の支払額	△946	△919
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△95	△100
その他	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△252</b>	<b>△3,912</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>1,476</b>	<b>△2,810</b>
現金及び現金同等物の期首残高	11,857	15,115
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>13,333</b>	<b>12,305</b>

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療事業	介護事業	こども 事業	計		
売上高						
医療請負	31,056	—	—	31,056	—	31,056
医療派遣	3,792	—	—	3,792	—	3,792
介護	—	26,456	—	26,456	—	26,456
こども	—	—	4,887	4,887	—	4,887
その他	654	22	—	676	90	767
顧客との契約から生じる収益	35,503	26,478	4,887	66,869	90	66,960
その他の収益	—	2	—	2	20	23
外部顧客への売上高	35,503	26,480	4,887	66,871	111	66,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	35,503	26,480	4,887	66,871	111	66,983
セグメント利益又は損失(△)	2,113	777	△46	2,844	△333	2,510

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないスマートホスピタル事業、不動産賃貸及び損害保険代理店業務等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

株式会社ソラストケア、ソラストケアネットワーク株式会社及びポシブル医科学株式会社等の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、当中間連結会計期間末の「介護事業」のセグメント資産が、前連結会計年度の末日に比べ、8,004百万円増加しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「介護事業」セグメントにおいて、ポシブル医科学株式会社等が、新たに連結子会社となっています。この株式取得によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において2,063百万円です。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療事業	介護事業	こども 事業	計		
売上高						
医療請負	31,346	—	—	31,346	—	31,346
医療派遣	3,421	—	—	3,421	—	3,421
介護	—	27,701	—	27,701	—	27,701
こども	—	—	5,034	5,034	—	5,034
その他	677	77	—	754	104	859
顧客との契約から生じる収益	35,444	27,778	5,034	68,257	104	68,362
その他の収益	—	3	—	3	22	26
外部顧客への売上高	35,444	27,782	5,034	68,261	126	68,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	35,444	27,782	5,034	68,261	126	68,388
セグメント利益又は損失(△)	2,373	1,258	78	3,710	△32	3,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないスマートホスピタル事業、不動産賃貸及び損害保険代理店業務等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、組織変更を伴う構造改革を実施したのを機に、2024年4月1日より経営管理区分を変更したことに伴い、当中間連結会計期間より「医療関連受託事業」の名称を「医療事業」に変更するとともに、従来「その他」の区分に含まれていた「教育事業」は報告セグメントの「医療事業」に含めています。

また、併せて報告セグメントの業績管理の方法をより適切に表示すべく全社費用の配賦方法を見直しています。これに伴い当中間連結会計期間より報告セグメントの売上高及び利益又は損失の測定方法を変更しています。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法等に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。